

地方公共団体の情報システム形態について

地方公共団体がシステムのハードウェア、ソフトウェア、データなどを自庁舎で管理・運用することに代えて、外部のデータセンターにおいて管理・運用し、ネットワーク経由で利用することができるようにする取組を「クラウド化」という。「クラウド化」の取組のうち、複数の地方公共団体でハードとソフトの共同調達・共同利用を行っているものを「自治体クラウド」という。

情報システム形態

メインフレーム

オープンシステム
(自庁設置)オープンシステム
(ハウジング)

【クラウド化】

オープンシステム
(単独IaaS・PaaS)
※ハードのみサービス利用オープンシステム
(共同IaaS・PaaS)
※共同でのIaaS, PaaSの実施オープンシステム
(SaaS)
※単独でのハード、
ソフトのサービス利用